

教科横断型授業「地理B」×「物理」

学習指導案

主題（教材）		日本の将来のエネルギーミックスについて考察しよう			
目標	エネルギーミックスの観点から多角的に日本の現状を見つめ、持続可能な社会を実現するためにどのような判断をするべきかについて考えさせる。				
指導過程	学習活動	時間	指導上の留意事項	資料等	
	導入	地球温暖化の現状とカーボンニュートラルの考え方について理解する。	5	政府の掲げる脱炭素化社会の仕組みについて理解させる。	○タブレット ○ロイロノート
	展開	1 日本エネルギー自給率と電源構成のグラフから、安定供給に向けた課題を理解する。	5	○ グラフを使い、日本はエネルギー自給率が11%と低いが、消費量は世界でも高いことを捉えさせる。	○タブレット ○ロイロノート ○ワークシート
		2 各発電方法のエネルギー変換効率と特色を理解し、エネルギーミックスの視点を身に付ける。	10	○ 各発電方法の特色をエネルギー変換効率、安定供給、経済性、環境保全の視点からメリット・デメリットを捉えさせる。	
		3 発電に関する各種グラフやデータを分析し、将来のエネルギーミックスについてグループで話し合う。	15	○ 補助資料やインターネットを利用して分析し、脱炭素化社会に向けたエネルギーミックスを考察させる。	
4 各グループが考えたエネルギーミックスについて発表する。	10	○ データやシンキングツールを用いて、各グループの意見を論理的に説明させる。			
整理	○ 小テストで学習内容を確認する ○ 本時の感想をまとめる	5	○ 学習内容を理解できたか確認し、本時の感想をまとめさせる。	○タブレット ○ロイロノート ○ワークシート	
備考					